

進路だより

発行：平成26年1月28日

1 大学入試センター試験

1月18日(土)19日(日)に大学入試センター試験が実施され、1月22日(水)に平均点等(中間集計)が発表になりました。

教科	科目	2014年度 中間集計	2013年度 受験人数・平均点	教科	科目	2014年度 中間集計	2013年度 受験人数・平均点
国語	国語	97.60	516,153人 101.04	理科	物理I	63.03	159,644人 62.70
地理 歴史	世界史B	70.23	90,071人 62.43		化学I	70.74	231,945人 63.67
	日本史B	67.86	159,582人 62.13		生物I	55.53	195,815人 61.31
	地理B	71.49	143,233人 61.88		地学I	52.31	17,853人 68.68
公民	現代社会	59.86	83,471人 60.45	外国 語	英語	121.63	535,835人 119.15
	倫理・政経	68.98	53,295人 60.68		リスニング*	33.46	529,440人 31.45
数学	数学I・A	63.47	398,447人 51.20				
	数学II・B	56.51	359,486人 55.64				

昨年度難化した数学I Aの平均点が上がり、全体の合計点でも昨年度より高い結果となっています。しかし、昨年平均点を下げた国語が更に下がり、100点を下回る結果となりました。全国の受験生が、1日目の国語の結果に左右されず、しっかり2日目の受験科目に取り組めた結果が出ているのではないのでしょうか。みなさんも1科目ごとに一喜一憂するのではなく、最後まで全力を尽くすことができるように普段から心がけておきましょう。

例えば、定期考査などで1科目終わるごとに、終わった考査についての感想を話し合っている場面を多く見かけます。しかし、本当に大切なことは次の時間の考査へ気持ちを切り替え、対策を取ることではないのでしょうか。秋学期期末考査から心がけてみてください。

また、大学入試センター試験は自己採点のみで、個別試験の受験先を決めます。先日5学年が取り組んだセンター対策KUタイムでも多くの生徒の自己採点が不正確でした。中には100点以上、合計を間違っている生徒がいました。普段の模試から自己採点にしっかり取り組み、大学入試センター試験で正しい志望校判断ができるようにしておきましょう。

2 判定基準について

5学年は7月に受験した模試から、志望校を記入し、その判定基準が示されています。この判定基準と得点率の関係を次に示します。(おおよその目安です。)

左の図が、判定基準です。具体的な例を右に示します。

判定	合格可能性
A	80%以上
B	60%以上～80%未満
C	40%以上～60%未満
D	20%以上～40%未満
E	20%未満

定員が50名の場合

得点率(%)	90%	80%	70%	60%	50%	40%	30%	20%	合計
合格者数	1	4	10	13	10	8	4		50
不合格者数		1	4	8	12	15	20	25	85
判定	A		B		C	D	E		

E判定でも合格者があり、逆にA判定でも不合格者がある場合があることがわかります。通常、C判定ならどちらか隣の受験生に、D判定なら両隣の受験生に勝てば合格です。ボーダーラインという言葉も、よく使われますが、おおむね合格可能性50%を意味します。合格者数が不合格者数を上回るラインです。

ちなみに、上記の例では、受験倍率は2.7倍です。これ以上の高倍率の場合でも、状況は同じです。本当に勝負するC判定、D判定の受験者の合否は紙一重です。しっかりとした、実力を落ち着いてつけることが、必要です。

「あせらず あわてず あきらめず」に取り組むことが大切です。

3 得点率について

5学年が取り組んだセンター対策KUタイムでは、大学入試センター試験で受験する科目の満点を理解していない生徒もありました。また、自分が受験に必要な科目が把握できていない生徒もありました。次にセンター試験の得点率についていくつか例を示します。

①文系生徒Aの例

教科	外国語		国語				数学		理科							地歴			公民		合計	得点率	
科目	英語	リス	国語	現文	古文	漢文	I A	II B	物理	化学	生物	地学	物基	化基	生基	地基	世B	日B	地B	現社	倫政		
満点	200	50	200	100	50	50	100	100	100	100	100	100	50	50	50	50	100	100	100	100	100	950	
得点	160	40	160	80	40	40	80	80								40	40	80			80	760	80%

②理系生徒Bの例

教科	外国語		国語				数学		理科							地歴			公民		合計	得点率	
科目	英語	リス	国語	現文	古文	漢文	I A	II B	物理	化学	生物	地学	物基	化基	生基	地基	世B	日B	地B	現社	倫政		
満点	200	50	200	100	50	50	100	100	100	100	100	100	50	50	50	50	100	100	100	100	100	950	
得点	170	40	130	65	30	35	90	90		90	80						70					760	80%

上2つの例は共に得点率80%になります。太枠で囲んである部分をすべて足せば合計点となります。ただし、判定基準に使用される得点率は各大学で指定した受験科目、傾斜配点が適用されますので注意しましょう。

③文系生徒Aが神戸大学国際文化学部に出願する場合

教科	外国語		国語				数学		理科							地歴			公民		合計	得点率	
科目	英語	リス	国語	現文	古文	漢文	I A	II B	物理	化学	生物	地学	物基	化基	生基	地基	世B	日B	地B	現社	倫政		
満点	200	50	200	100	50	50	100	100	100	100	100	100	50	50	50	50	100	100	100	100	100	950	
得点	160	40	160	80	40	40	80	80								40	40	80				760	80%
配点	80		80				70		50							120			400				
傾斜得点	64		64				56		40							96			320		80%		

合計得点は傾斜配点の結果320点となり、得点率は80%となります。

④理系生徒Bが神戸大学理学部生物学科に出願する場合

教科	外国語		国語				数学		理科							地歴			公民		合計	得点率	
科目	英語	リス	国語	現文	古文	漢文	I A	II B	物理	化学	生物	地学	物基	化基	生基	地基	世B	日B	地B	現社	倫政		
満点	200	50	200	100	50	50	100	100	100	100	100	100	50	50	50	50	100	100	100	100	100	950	
得点	170	40	130	65	30	35	90	90		90	80						70					760	80%
配点	75		125				50		100							75			425				
傾斜得点	63		81.3				45		85							52.5			327		77%		

合計得点は傾斜配点の結果327点となり、得点率は77%となります。

このように、同じ得点率80%でも各大学で指定された傾斜配点の結果、得点率は変わってきます。また、上記のように、理系学部でセンター試験の国語、地歴公民の科目の配点が高い場合が多いので注意しましょう。

さらに、これらのセンター試験の得点に加え、個別学力検査の得点が加算され、合否が決まります。